



小児科の「どうする臨床研修先？」

～若手医師が学びやすく、働きやすい環境とは～

要 旨

- 旭川医科大学小児科は6つの小児専門グループからなり、全ての専門領域を幅広く、かつ深く研修できるプログラムを用意。**優しくゆるい環境ではなく、プロフェッショナルとしての自覚を養える環境**の提供。
- 関連病院では主治医として、小児科医としての自覚と責任を養う環境を提供。**PassiveでなくPositive！**
- 後期研修は新専門医制度プログラムに準拠し、信頼される真の小児科医として幅広い経験を積み専門医獲得が可能。
- 季節に応じたレクリエーションを企画し、研修の息抜きや先輩医師との交流機会を提供。
- 各種学会/研究会への積極的な参加支援と論文作成支援。



小児科の研修プログラムの紹介

初期研修

共通プログラム												小児科専門プログラム												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	内科						救急			選択必修/自由選択			小児科			内科						救急		
2年目	地域	選択必修/自由選択				自由選択							地域	選択必修/小児科										

研修プログラムは本人の選択に任せている。

選択によって、小児科に偏った研修も、広く多くの科を研修することも可能。

その他、大学とのたすき掛け等も可能（要相談）。



後期研修

小児科学会が奨める小児医療集約化のための3つの病院カテゴリー

- 中核病院小児科
- 地域小児科センター
- 地域振興小児科

3年間であらゆる立場での小児医療を経験し、こどもや家族から信頼される小児科医となるべく経験を積むことができる。

新専門医制度にも対応！

新専門医制度に沿ったプログラム



各病院の研修環境

大学編

- 小児科には6つの臨床グループと研究グループが存在
- 研修医は各グループを数ヶ月毎にローテーションし、各グループのサブスペシャリティ専門医の高い専門性をもった診療への参加
- 総回診前カンファレンスでは、研修医によるプレゼンテーションと各グループ間でそれぞれの専門性を越えたディスカッション
→ ローテーション中のグループはより深く、かつ他のグループの診療を幅広く学ぶ事ができる

関連病院編

- 地域小児科センターはNICUを備えた大規模小児科 → 主治医として重症度の高い疾患の経験
- 地域振興小児科は3-4人体制の病院が多い → 任されることによる責任の自覚
- 地域唯一の小児医療提供施設 → 地域のこども達を支える意識の芽生え
- 先輩医師からのマンツーマンに近い指導 → 一貫した方針による指導
- 大学病院のバックアップ → 困ったときの安心感

幅広く、かつ深く勉強できる機会



子育て医師への診療支援

- お子さんの急な病気には、各グループでのバックアップ
- ときにはお子さん、診療します
- 可能な範囲での研修先選択
- 当直免除（後期研修）

何より、子育ては小児科医としてのキャリアになる！！

学会発表支援

- 多くの機会で、慣れない学会発表を完全バックアップ
- その後の論文作成まで支援



レクリエーション

- 5月 : 新人歓迎会、ゴルフ大会
- 6月 : 花見・焼き肉パーティー
- 7月 : 同門会ゴルフ大会
- 8月～ : 医局対抗野球大会
- 9月 : 北日本小児科学会野球大会
- 12月 : 忘年会

